

関東甲信地方梅雨入り 奥利根の水がめ依然として黄色信号

記者発表資料

利根川上流8ダム（矢木沢、奈良俣、藤原、相俣、菌原、下久保、草木ダム、渡良瀬貯水池）の貯水量は、6月6日から10日にかけての降雨によりやや増加し、6月15日9時現在で3億5,258万m³で貯水率76%（平年比94%）となっています。

また、関東甲信地方も平年より6日遅く6月14日頃、梅雨入りしましたが、現在の貯水量は依然として、30%の取水制限を伴った平成6年の貯水量より少なく、予断を許さない状況です。

特に、矢木沢ダムは6月15日9時現在6,564万m³、貯水率57%（平年比61%）と、この時期としては、8ダム体制となった平成4年以降過去2番目に少ない貯水量となっています。

関東地方整備局としては、引き続き関係機関へ節水について呼びかけるとともに、きめ細やかなダム運用を行っていきます。

【利根川上流ダム群の現状（詳細は別添参照）】

- ・ 栗橋上流域降雨状況 6月1日～14日までの累加降水量は113mm
（昭和23年～平成18年の平均176mmと比べて64%）
- ・ ダムの貯水状況 6月15日9時現在の8ダム貯水量は3億5,258万m³
（平成4年～平成18年の平均3億7,499万m³と比べて94%）

HP等でダム情報をご覧になれます。

（<http://www.ktr.mlit.go.jp/kyoku/river/mzshigen/kasui/>

（関東地方整備局で検索し、「水を大切に！水源情報」をクリック）

節水マニュアルをHPへアップしました。<http://www.ktr.mlit.go.jp/kyoku/river/sessui.pdf>

平成19年6月15日（金）

国土交通省関東地方整備局

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ
神奈川建設記者会、東京都庁記者クラブ、千葉県政記者会
茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、刀水クラブ

問	国土交通省 関東地方整備局 河川部	
い	〒330-9724 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1	水政調整官 塚本(内線)3515
合	さいたま新都心合同庁舎2号館	水政課長 小島(内線)3551
わ	電話 (代 表) 048-601-3151	河川環境課長 富岡(内線)3651
せ	(水政課夜間直通) 048-600-1334	課長補佐 林(内線)3652
先	(河川環境課夜間直通) 048-600-1336	

利根川上流ダム群等の現状について

平成19年6月15日

関東地方整備局

1. 利根川上流ダム群の貯水量は平年を下回る状況

- ・1月から5月までの累加降水量は286mm（平年1月～5月までの累加363mm）と平年の79%となっており、昭和23年以降で6番目に少ない降水量となっています。
- ・利根川上流8ダムは、6月15日9時現在の貯水量は、3億5,258万m³、常時満水容量4億6,163万m³に対して76%、平年の貯水量3億7,499万m³に対して94%となっています。

表－1 利根川栗橋上流域平均降水量

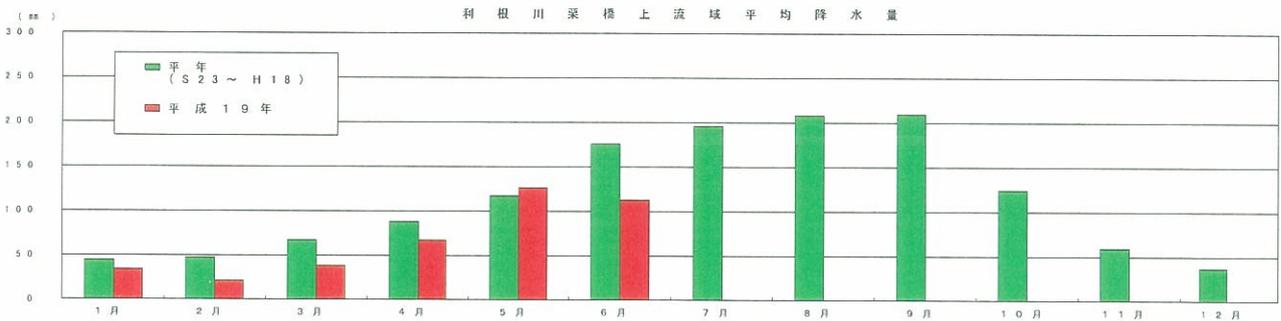
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
昭和62年	22	33	62	14	89	91	204	186	252	73	39	26	1,091	利根川夏渇水
平成2年	31	66	71	119	58	74	118	193	326	143	183	31	1,413	"
平成6年	27	50	52	23	139	107	104	153	346	87	26	29	1,143	"
平成8年	26	35	68	47	98	117	155	78	217	80	55	23	999	利根川夏渇水
平成9年	33	33	59	74	179	173	170	167	206	14	94	20	1,222	利根川冬渇水
平成13年	79	35	75	23	136	176	116	366	321	173	46	23	1,569	利根川夏渇水
平成18年	46	68	57	75	117	176	331	126	180	218	97	123	1,614	
平年 (S23-H18)	44	47	67	88	117	176	196	208	209	124	59	37	1,372	
平成19年	34	21	38	67	126	113							399	
平年比 (%)	77	45	57	76	108	64							29	

※. 利根川取水制限実施月（一時緩和含む）

平成19年6月14日まで

※. 栗橋上流域面積 16,840km²

図－1



表－2 利根川上流ダム群の貯水状況（平成19年6月15日 9時現在）

(万m³)

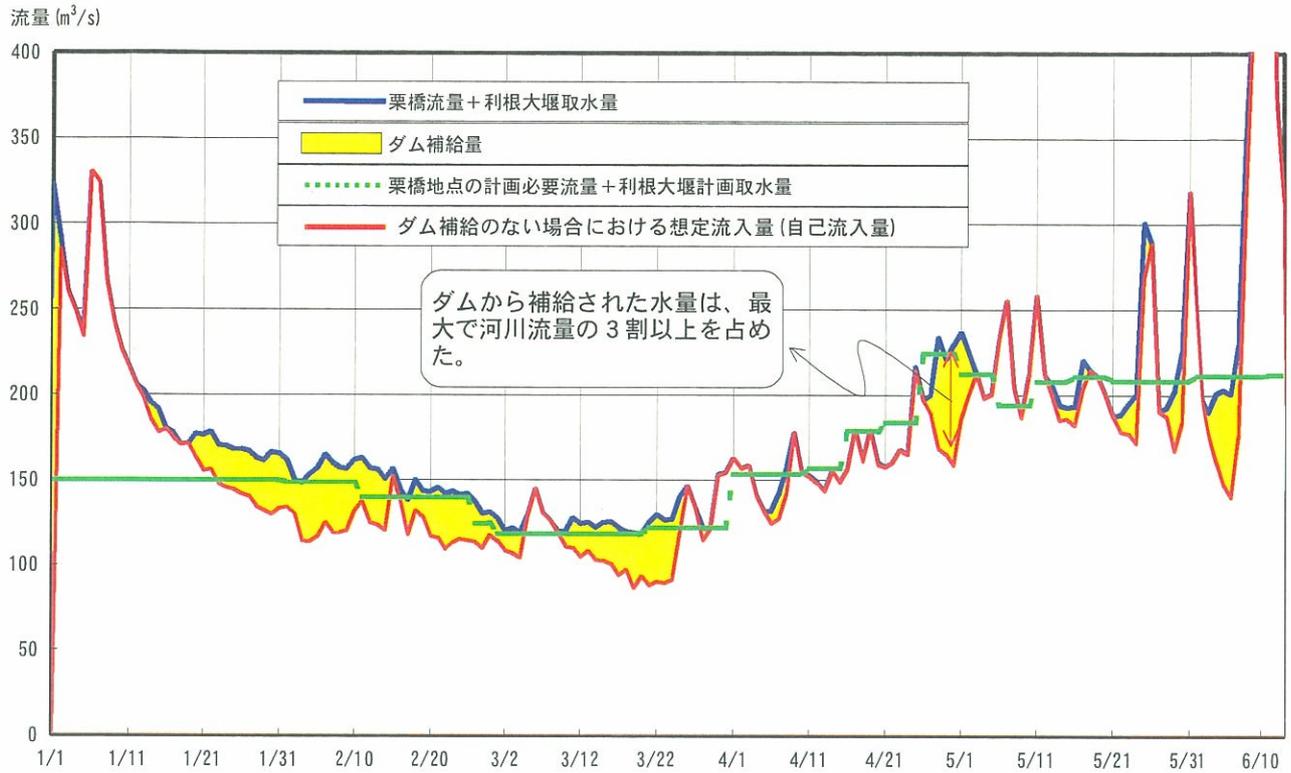
諸元	矢木沢	奈良俣	藤原	相俣	菌原	下久保	草木	渡良瀬貯水池	合計	平年比 (%)
有効容量	11,550	8,500	3,101	2,000	1,322	12,000	5,050	2,640	46,163	—
貯水量	6,564	7,044	1,585	1,909	1,080	9,547	4,919	2,610	35,258	37,499
貯水率 (%)	57	83	51	95	82	80	97	99	76	94

※. 有効容量は、常時満水容量。貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。

図－2



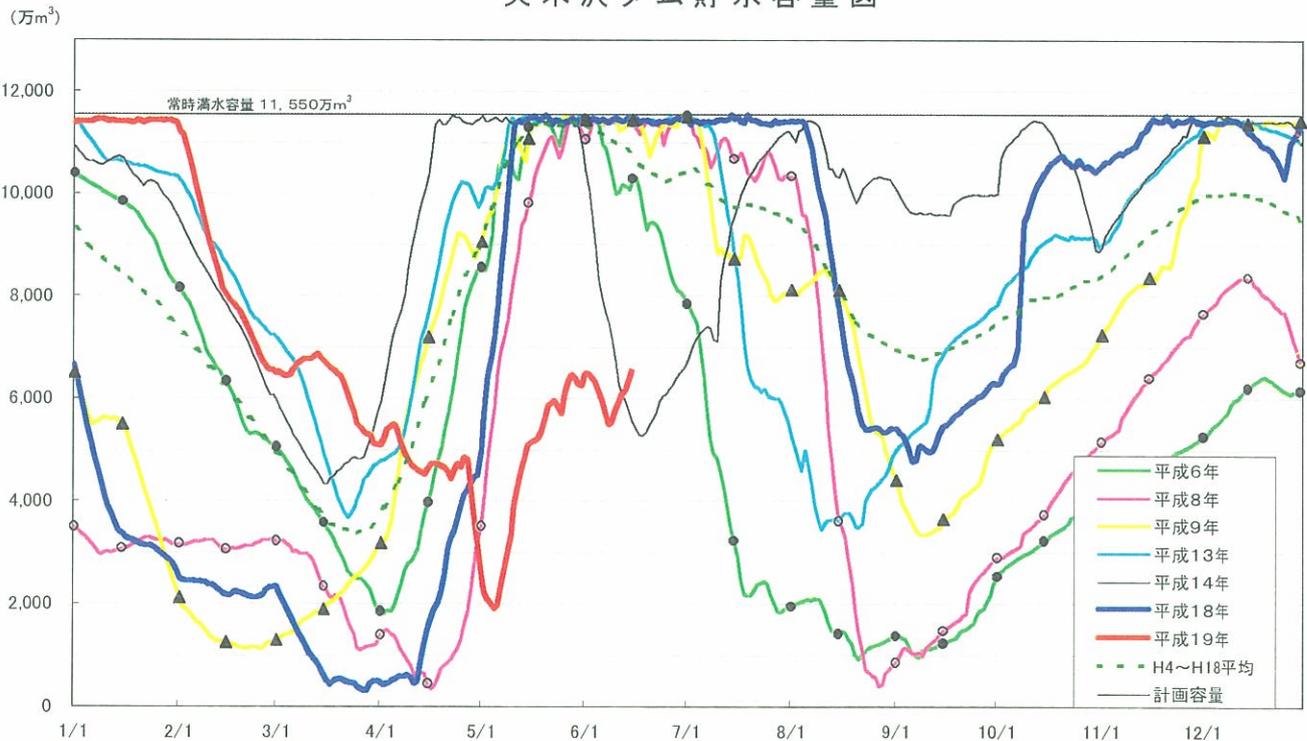
図-3 ダムの補給状況(平成19年1月1日から6月13日)



・ 矢木沢ダムは、6月15日9時現在の貯水量は、6,564万 m^3 、常時満水容量1億1,550万 m^3 に対して57%、平年の貯水量1億774万 m^3 に対して61%となっています。この時期としては、平成14年の次に少ない貯水量となっています。

図-4

矢木沢ダム貯水容量図



2. 鬼怒川上流ダム群は平年並みの貯水量

- ・ 1月から5月までの累加降水量は230mm（平年1月～5月までの累加405mm）と平年の57%となっており、昭和47年以降で最も少ない降水量となっています。
- ・ 鬼怒川上流ダム群は、6月15日0時現在の貯水量は、1億1,335万m³、常時満水容量1億4,196万m³に対して80%、平年の貯水量1億810万m³に対して105%となっています。
- ・ また、4月21日から6月10日まで利根川本川へ3m³/sの補給を行ないました。

表-3 鬼怒川佐貫上流域平均降水量 単位(mm)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
昭和62年	21	34	127	21	121	134	186	156	321	121	38	21	1,301
平成2年	35	89	79	164	53	111	109	338	394	195	220	66	1,853
平成6年	15	118	77	21	126	103	159	218	551	122	25	48	1,583
平成8年	46	69	79	67	113	103	176	109	211	66	65	36	1,140
平成9年	46	55	74	52	145	272	234	114	274	17	215	27	1,525
平成13年	56	13	34	13	116	185	147	484	610	225	62	35	1,980
平成18年	32	34	36	50	111	167	312	90	260	212	118	78	1,500
平年(S47-H18)	50	54	76	105	120	178	224	282	273	143	93	39	1,637
平成19年	31	15	21	41	122	111							342
平年比(%)	62	28	28	39	102	63							21

※. 鬼怒川佐貫上流域面積 940km²

平成19年6月14日まで

図-5

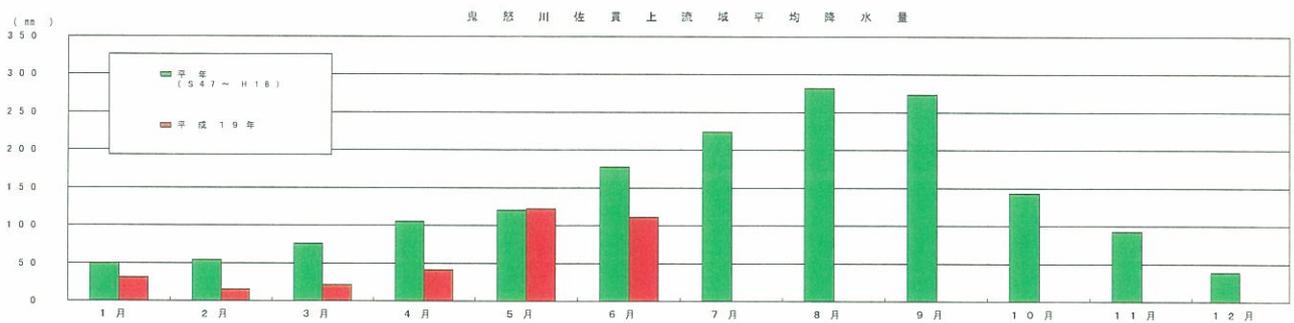


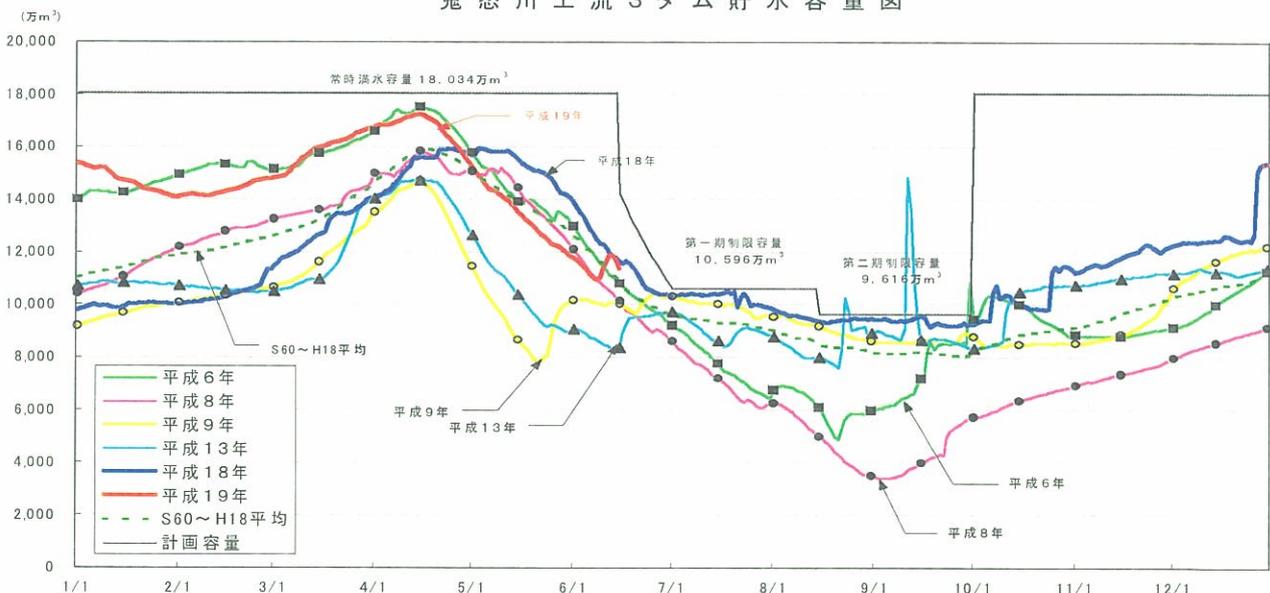
表-4 鬼怒川上流ダム群の貯水状況（平成19年6月15日 0時現在） (万m³)

諸元	五十里	川俣	川治	合計	平年比(%)
有効容量	1,304	5,292	7,600	14,196	—
貯水量	1,173	5,486	4,676	11,335	10,810
貯水率(%)	90	104	62	80	105

※. 有効容量は、常時満水容量。貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。

図-6

鬼怒川上流3ダム貯水容量図

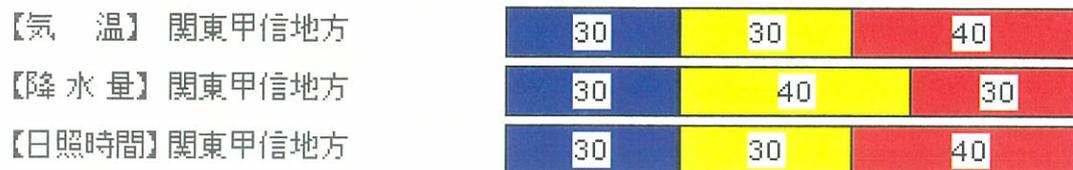


3. 今後の降水量の見通し（関東甲信地方）

- 平成19年6月8日発表の気象庁の1か月予報によると、6月9日から7月8日の関東甲信地方の降水量については、「平年並」となっており、5月24日発表の気象庁の3か月予報によると、降水量は、6月は「平年並」となっており、7月は「少ない」、8月は「少ない」となっています。

1か月予報（平成19年6月8日発表）

< 向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%) >

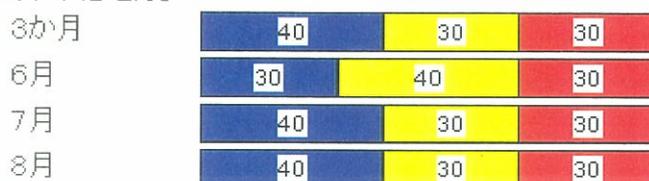


凡例: 低い(少ない) 平年並 高い(多い)

3か月予報（平成19年5月24日発表）

【降水量】

[関東甲信地方]



凡例: 低い(少ない) 平年並 高い(多い)